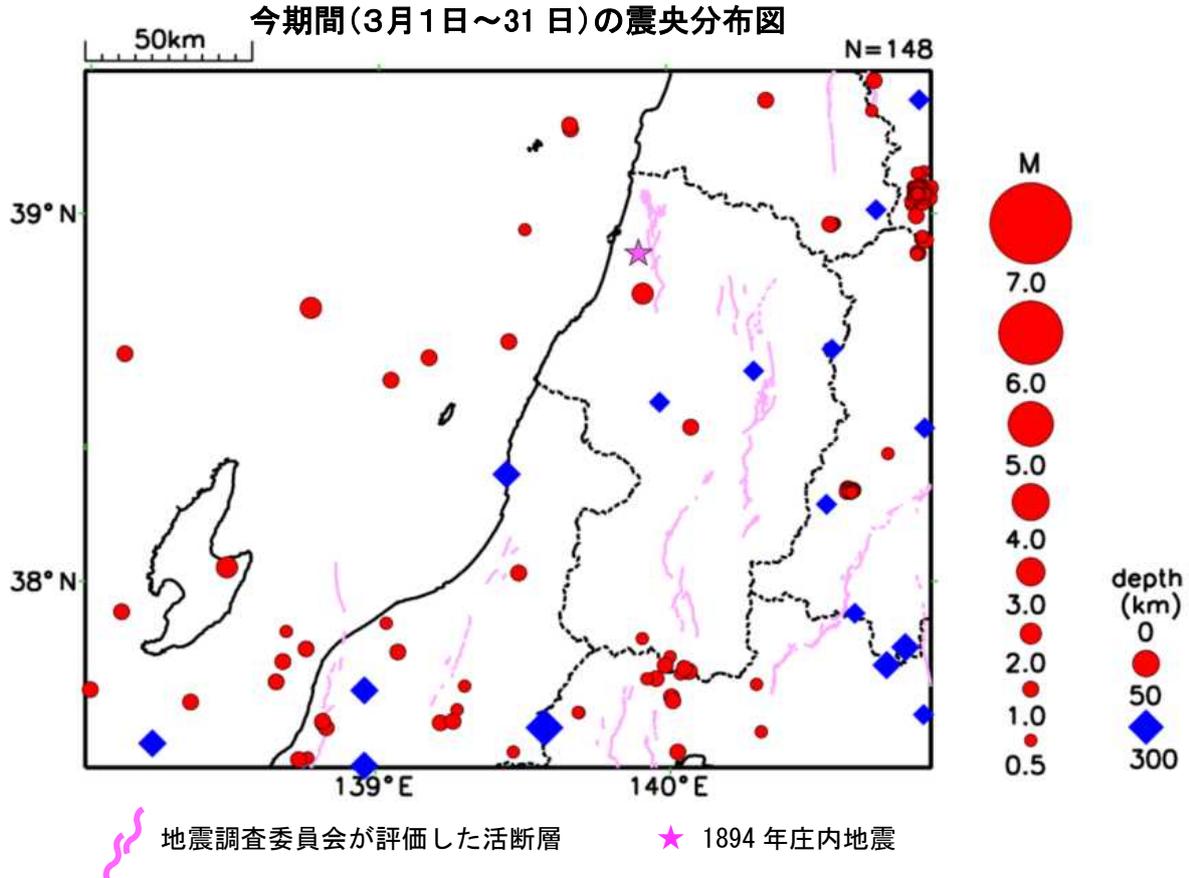


# 山形県月間地震概況（2024年3月）

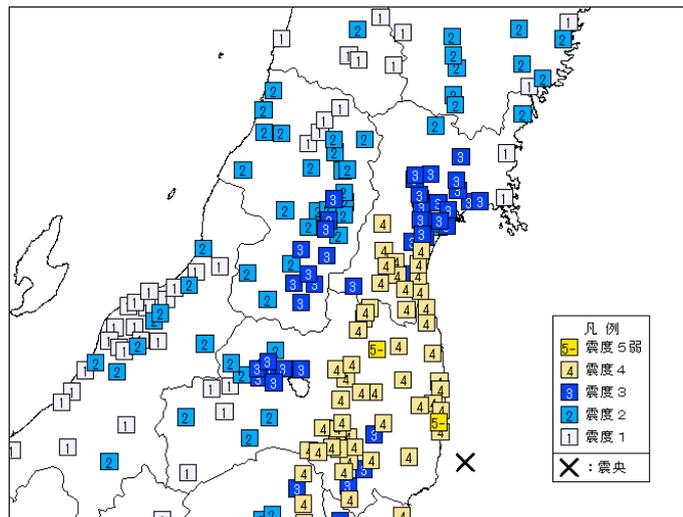
山形地方気象台



## 【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は148回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は5回(前期間5回)であった。

15日00時14分に福島県沖の深さ50kmでM5.8の地震が発生し、福島県川俣町、楡葉町で震度5弱を観測した。この地震により軽傷4人の被害が生じた(3月22日現在、総務省消防庁による)。山形県内では置賜・村山で震度3を観測したほか広い範囲で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

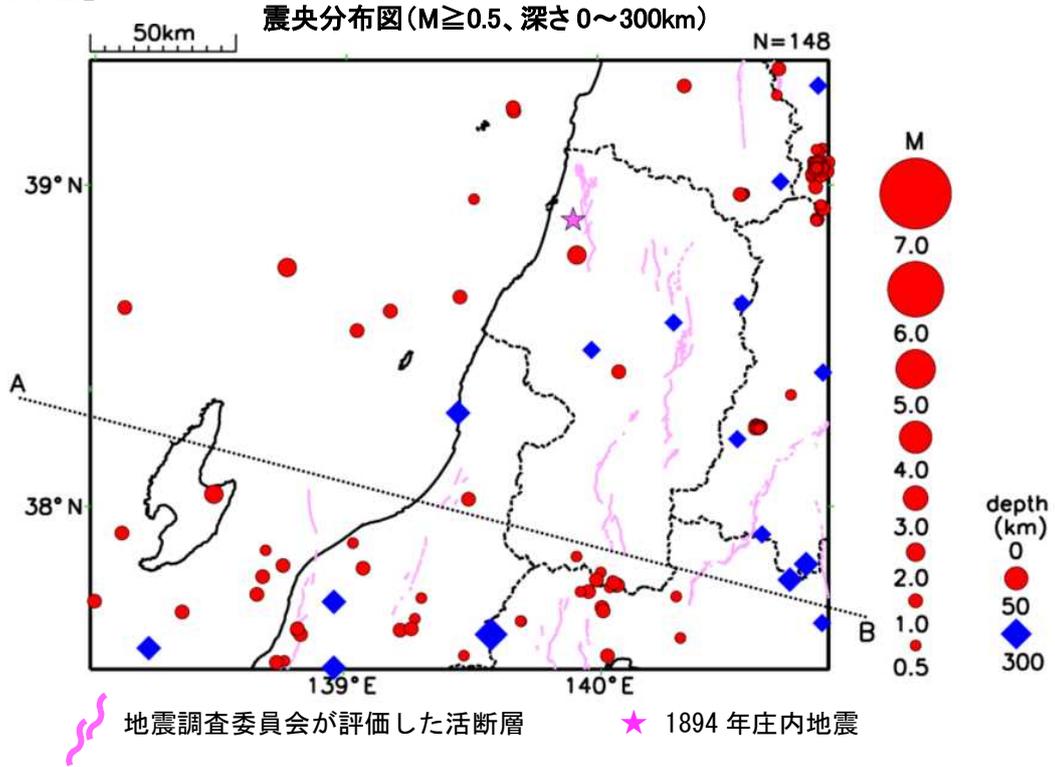


15日00時14分に福島県沖で発生した地震(M5.8)の震央(X)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

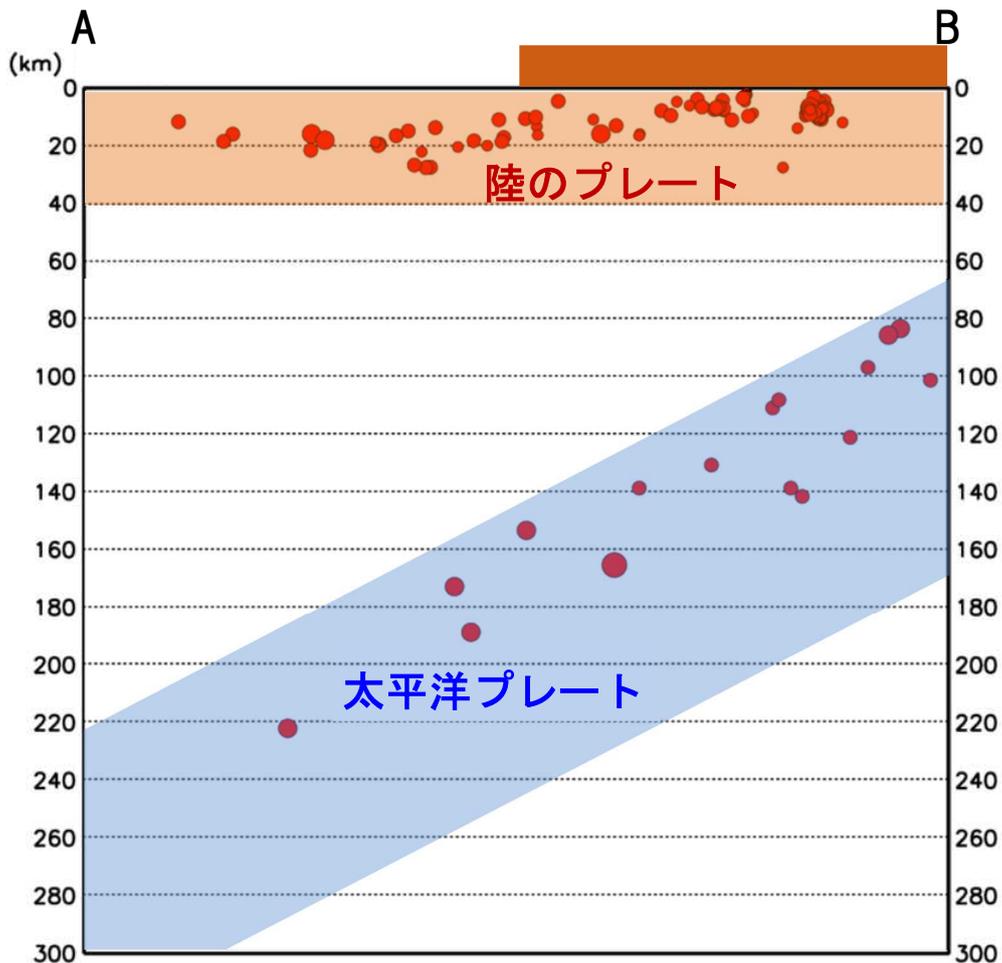
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※                      は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

## 山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年3月1日～2024年3月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年03月10日15時14分	宮城県沖	37° 57.2' N	141° 44.8' E	55km	M4.3
山形県	震度 1 : 東根市中央*				西川町大井沢*
2024年03月13日20時24分	福島県沖	37° 05.6' N	141° 07.8' E	51km	M4.7
山形県	震度 1 : 米沢市林泉寺*				
2024年03月15日00時14分	福島県沖	37° 04.3' N	141° 09.8' E	50km	M5.8
山形県	震度 3 : 上山市河崎* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町吉田 米沢市林泉寺*				南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*
	震度 2 : 鶴岡市温海川 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 酒田市宮野浦* 酒田市飛鳥*				酒田市山田* 酒田市本町* 三川町横山* 遊佐町遊佐 庄内町狩川* 庄内町余目*
					新庄市東谷地田町 最上町向町* 舟形町舟形* 大蔵村肘折* 大蔵村清水*
					山形市緑町 山形市薬師町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 村山市中央*
					天童市老野森* 東根市中央* 河北町役場* 西川町大井沢* 西川町海味*
					山形朝日町宮宿* 大江町左沢* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前
					米沢市金池* 長井市本町* 山形小国町岩井沢 山形小国町小国小坂町* 白鷹町黒鴨
					飯豊町上原* 飯豊町椿*
	震度 1 : 鶴岡市馬場町 鶴岡市道田町* 鶴岡市上山添* 鶴岡市下名川* 鶴岡市羽黒町*				酒田市観音寺* 遊佐町舞鶴* 新庄市堀端町* 新庄市住吉町* 山形金山町中田
					山形金山町金山* 真室川町新町* 鮭川村佐渡* 戸沢村古口* 山形市旅籠町*
2024年03月17日06時17分	福島県沖	37° 09.3' N	141° 26.8' E	44km	M5.4
山形県	震度 2 : 上山市河崎* 天童市老野森* 中山町長崎* 米沢市林泉寺* 南陽市三間通*				山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*
	震度 1 : 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 庄内町狩川* 新庄市東谷地田町 最上町向町*				舟形町舟形* 大蔵村肘折* 大蔵村清水* 山形市薬師町* 寒河江市西根*
					寒河江市中央* 村山市中央* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 河北町吉田
					河北町役場* 西川町大井沢* 山形朝日町宮宿* 大石田町緑町* 米沢市駅前
					米沢市金池* 長井市本町* 高島町高島* 山形小国町岩井沢
					山形小国町小国小坂町* 白鷹町黒鴨 飯豊町椿*
2024年03月21日09時08分	茨城県南部	36° 02.9' N	139° 53.2' E	46km	M5.3
山形県	震度 1 : 中山町長崎*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、\*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

# 津波到達予想時刻を可視化した資料の提供開始

## ～津波警報等発表時の地震解説資料の改善について～

気象庁では、津波警報等発表時に提供する情報等の改善の一環として、地震発生後1～2時間後に発表する「地震解説資料（詳細版）」にて、津波警報等を発表している予報区と津波の第1波の到達予想時刻を可視化した資料の提供を開始しました。そこで、今回の防災メモでは、新たに提供する図のイメージとその内容について簡単に紹介します。

### 新たに提供する資料（第1波の到達予想時刻図）のイメージと解説

新たに提供する資料は、津波警報等を発表している予報区と津波の第1波の到達予想時刻を日本周辺の地図（白地図）上にプロットした図です（図1）。第1波の到達予想時刻は、30分間隔の等時線として表示します。

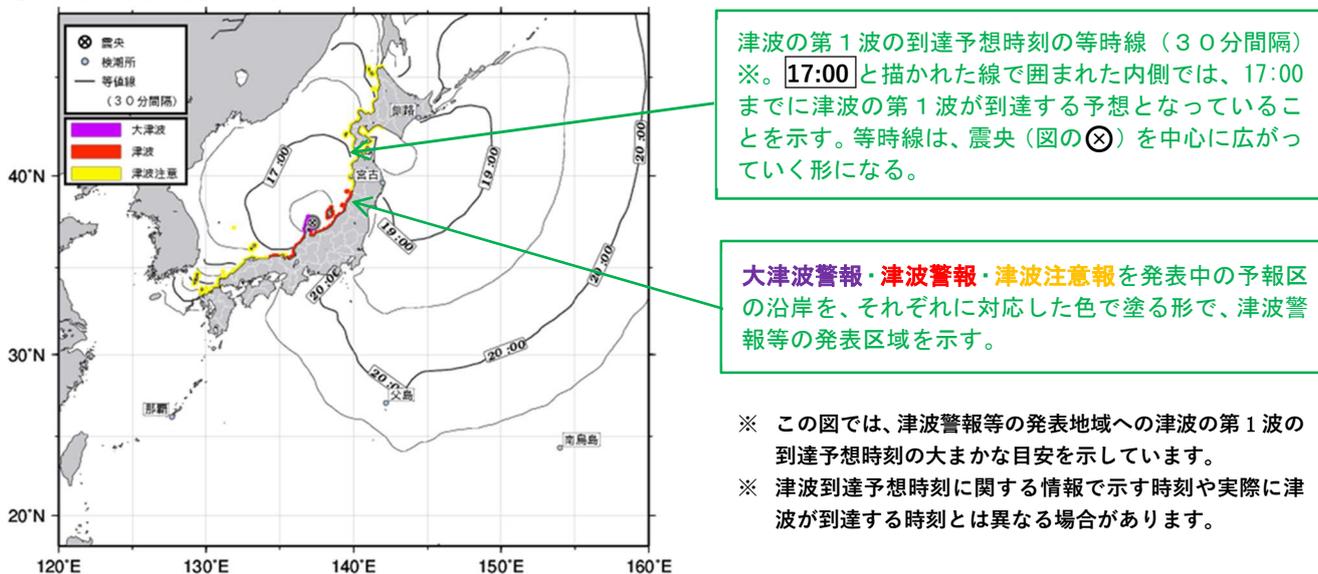


図1 第1波の到達予想時刻図のイメージと説明

なお、実際の「地震解説資料（詳細版）」では、留意事項などを併記した形で提供します（図2）。防災対応等にご活用ください。

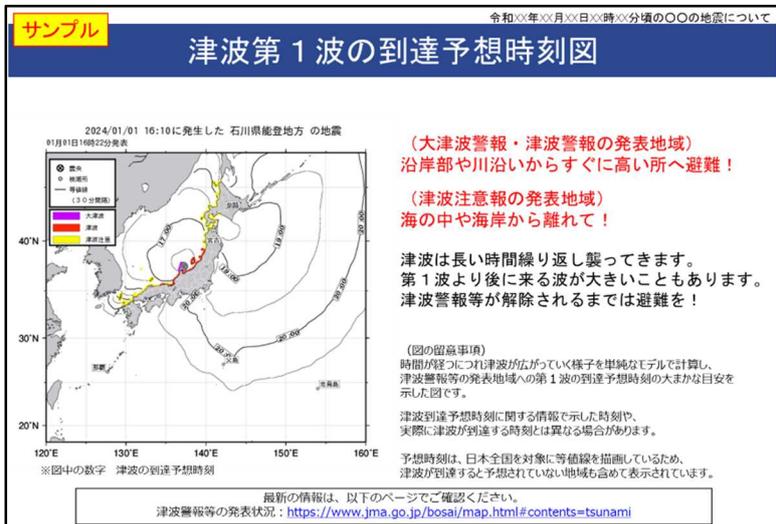


図2 地震解説資料（詳細版）での資料のイメージ